



久保田

美術竹  
館

富士五湖

河口湖北岸

ITCHIKU  
KUBOTA  
ART  
MUSEUM

[www.itchiku-museum.com](http://www.itchiku-museum.com)



# 久保田一竹美術館

---

訪れる人々が潤いと安らぎを享受できる幽玄の世界

---

染色家久保田一竹(1917~2003)が、1994年、雄大なる富士と清澄な水をたたえる河口湖を望む絶好のロケーションに建設した「一竹辻が花作品」を常設展示する美術館です。

「人と自然と芸術の三位一体」と「新しい文化・芸術の発信地」を二大テーマとし、作品のみならず、庭や建物、調度品の配置に至るまで美術館の全てが「一竹の世界」を表現しています。

## 本一館 (1994年10月完成)

一千年を超す「ひば(ひのき科)」の大黒柱16本を使い、日本古来の組上げ技法と西洋のログハウスの技法を併せた独特な組上げ技法によるピラミッド型の建築物です。久保田一竹のライフワーク「光響」の連作をはじめ、富士山をテーマにした作品群、及び代表作品が展示されています。展示室の奥には、美しい自然を眺めながらお寛ぎいただける、茶房「一竹庵」があり、お抹茶を提供しています。



## 新館 → (1997年7月完成)

内外壁の全てが琉球石灰岩(サンゴ等の堆積岩)でできた世界的建築家ガウディの建築物を想わせる稀有な建物です。オリジナルグッズや和小物、とんぼ玉のアクセサリーなど貴重なアイテムを揃えた「ミュージアムショップ」や「ミュージアムカフェ」を併設しています。

## 庭 →

久保田一竹の構想のもと自然の環境を活かした庭園となっています。琉球石灰岩、富士の溶岩、多種多様な植栽、渾々と湧き出る豊かな水とあいまって独特な雰囲気を醸し出します。春から夏には、桜、つつじ、新緑の木々そして数々の高山植物、秋には紅葉、冬には莊厳な富士と、四季折々の彩りを楽しめます。本館北側の散策路をゆっくり歩いてみては如何でしょうか。

## 光響 →

久保田一竹のライフワークであり、自然界の「四季」と一竹の心の「宇宙」を80連作で表現することを最終目標としています。現在、秋と冬そして宇宙の一部、あわせて46連作が完成しています。



©一竹辻が花



©一竹辻が花

©一竹辻が花

# 久保田一竹と一竹辻が花



©一竹辻が花

一竹が室町時代の紋様染め「辻が花染め」の小裂に出会ったのは20歳の時、以来その美に魅了され、現代に息づく染色としての「辻が花」の制作研究に全霊を捧げました。敗戦そしてシベリアでの抑留を経験し、本格的に「辻が花」の研究を始めたのは40歳になってから、苦節20年初めて納得のいく作品が完成し、これを独自の染色技法「一竹辻が花」として発表しました。1977年の初の個展以来、世界各国で数々の個展を開催しました。1990年の「フランス芸術文化勲章シュヴァリエ章」受章、また1993年の「文化庁長官賞」受賞など、氏の功績は国内外を問わず高く評価されています。2003年4月26日逝去、享年85歳。

## 辻が花染め

室町時代より庶民の小袖として親しまれていた、絞りを基調とし描き絵を施した紋様染めの技法です。安土桃山時代にその栄華を迎え、辻が花の着物や羽織は数々の武将や武家に寵愛されていましたが、江戸時代の初期にその姿を消してしまいます。その理由は、より絵画的な細かい描写のできる友禅染の技法が考案されたことによるものとする説が有力です。「辻が花」は忽然とその姿を消してしまったことから「幻の染め物」または「幻の花」などと言われています。

## とんぼ玉

蜻蛉玉(Glass Beads)とはガラス玉に色紋様を施したガラス工芸品の総称です。幼い一竹が心を奪われ、「一竹辻が花」の創作に大きな影響を与えた氏のコレクション(蜻蛉玉)を常設展示しています。





4~11月 10:00 - 17:00 (最終入館16:30迄)  
12~3月 10:00 - 16:30 (最終入館16:00迄)



公式ホームページをご参照ください。

休館日



一般のお客様: 1,500円(1,300円)

入館料

大学・高校生: 900円(700円) 中学・小学生: 400円(200円)

※()内は15名様以上の団体同時ご入館の料金 ※就学前のお子様は無料



交通

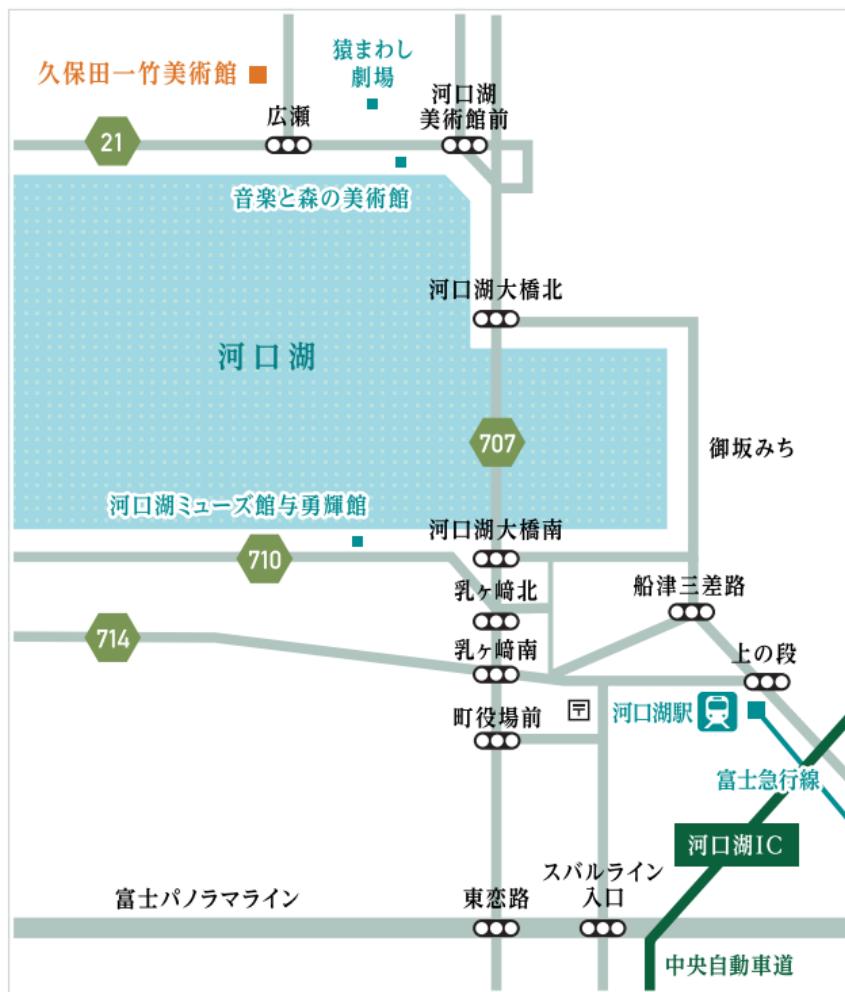
■電車 新宿駅【JR中央線】<特急約60分>→大月駅【富士急行線】<約60分>

→河口湖駅(河口湖周遊バス:約25分)

■バス 新宿駅南口【中央高速バス】<約100分>→ 河口湖駅(河口湖周遊バス:約25分)

■お車 新宿【首都高速4号線=中央自動車道=大月JCT経由】<約90分>

→ 河口湖IC → 【国道137号線】<約15分>



所在地 〒401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口2255



TEL 0555-76-8811 FAX 0555-76-8812

作品展示室及びギャラリー内の写真・ビデオの撮影はできません。